| 学校番号 | ４０８ |
|---|---|

# 平成 31 年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「明解世界史Ａ」　（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史を流れとしてとらえ、人類社会発展の時間軸として考える。
歴史的事象に対して、「なぜ」という視点を持ち、原因と結果のつながりを理解する。
歴史を背景として、現在の世界の国々の諸事情や世界の中での日本のあり方を考える。

## 2　学習の到達目標

諸資料に親しみ、歴史的思考力を養う。
現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結びつけて、考察できるようにする。
世界の歴史を、地理的条件や日本史と関連して理解し、国際社会に生きる日本人として、主体的に生きる自覚と資質を養う。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高める。また、国際社会に生きる日本に住む者として、主体的に生きるようにする。 | 現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結びつけて、考察し、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 | 近現代史を中心とする世界の歴史に関する資料を集め、有益な情報を取捨選択して図表などにまとめたりしている。 | 近現代史を中心とする世界の歴史を、地理的条件や日本史と関連して理解し、その知識を身につけている。 |
| 評価方法 | 授業態度<br>ノートなどの提出<br>主題学習<br>レポート | 定期考査<br>ノートなどの提出<br>主題学習 | 定期考査<br>ノートなどの提出<br>主題学習 | 定期考査<br>ノートなどの提出<br>主題学習 |

主題学習とは、主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1 | 世界史へのいざない | 自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりを考えさせることで、世界史学習の意義に気づかせる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | a:歴史の舞台としての自然環境などに気づいている。<br>b:学習内容についての考察を適切に表現している。<br>c:学習内容を図表などにまとめることができる。<br>d:自然環境と人間との関連などに気づいている。 | ノートなど |
| 1 | 前近代の諸文明 | 文明のはじまり<br>ユーラシアの諸文明の特質<br>(東アジア・南アジア・西アジア、北アフリカ、ヨーロッパなど)<br>ユーラシアの交流 | ○ | ◎ | ○ | ○ | a: ユーラシアの諸文明の特質を意欲的に追求しようとする。<br>b: ユーラシアの交流の過程や結果を適切に表現している。<br>c: 学習内容を図表などにまとめることができる。<br>d:学習内容を身につけている。 | 定期考査<br>ノートなど |
| 1 | 一体化にむかう世界 | 繁栄するアジア<br>大航海時代と新たな国家の形成 | ○ | ○ | ○ | ◎ | a:アジアの諸帝国や、大航海時代の特色を考えようとしている。<br>b:学習内容を適切に表現している。<br>c:集めた資料を適切に活用する技能を身につけている。<br>d:学習内容を身につけている。 | 定期考査<br>ノートなど |
| 1 | 欧米の工業化 | アメリカの独立、フランス革命、産業革命、自由主義とナショナリズムの進展など | ◎ | ○ | ○ | ○ | a:工業化や国民国家の形成で近代世界が確立したことを考えようとする。<br>b:近代世界の確立について一連の過程を適切に表現できる。<br>c: 集めた資料を適切に活用する技能を身につけている。<br>d: 学習内容を理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>ノートなど |
| 2 | アジア諸国の動揺 | オスマン帝国、ムガル帝国、清の、欧米勢力の進出による弱体化、滅亡など | ○ | ○ | ○ | ◎ | a:学習内容への関心を高め、その特質を考えようとする。<br>b:その特質を適切に表現できる。<br>c: 集めた資料を適切に活用する技能を身につけている。<br>d: 学習内容を理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>ノートなど |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 現代世界のめばえと世界大戦 | 交通革命、マスメディアの発達、企業や国家の巨大化、大衆社会など、20 世紀の特質や世界の一体化など | ○ | ○ | ◎ | ○ | a:１９世紀末から２０世紀にかけての変化や特質を考えようとする。<br>b: 上記の一連の過程を適切に表現できる。<br>c: 集めた資料を適切に活用する技能を身につけている。<br>d: 学習内容を理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>ノートなど |
| 2 | 同上 | 第一次世界大戦、戦間期、第二次世界大戦 | ○ | ○ | ○ | ◎ | a:２つの大戦の原因、性格、戦間期のできごとなど、その特質を考えようとする。<br>b: 上記の一連の過程を適切に表現できる。<br>c: 集めた資料を適切に活用する技能を身につけている。<br>d: 学習内容を理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>ノートなど |
| 3 | 冷戦から地球社会へ | 冷戦の過程、冷戦終結への道のり | ◎ | ○ | ○ | ○ | a: 冷戦の過程、冷戦終結への道のりの特質を考えようとする。<br>b: 上記の一連の過程を適切に表現できる。<br>c: 集めた資料を適切に活用する技能を身につけている。<br>d：学習内容を理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>ノートなど |
| 3 | 持続可能な社会への展望 | 主題学習<br>課題の設定<br>調査方法<br>資料収集<br>成果報告 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結びつけ、追求しようとしている。<br>b: 現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結びつけ、適切に表現しようとしている。<br>c: 現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結びつけ、図表にまとめたりしている。<br>d：現代の諸課題に関する知識を身に付けている。 | レポート<br>ノートなど |